

しげもとまもる

繁本 護

PROFILE

プロフィール

- 1972年 兵庫県姫路市生まれ
 - 1991年 兵庫県立姫路西高校卒業
 - 1995年 神戸大学工学部土木工学科卒業
 - 1997年 神戸大学大学院建設学修了
 - 1997年 運輸省入省
 - 2003年 米国イリノイ工科大学経営大学院終了(MBA)
 - 2003年 環境省水環境部 室長補佐
 - 2006年 北海道開発局 室蘭港湾事務所長
 - 2007年 北海道開発局 釧路港湾事務所長
 - 2008年 釧路市 港湾空港部長
 - 2010年 国土交通省 港湾局 国際調整官
 - 2010年 伊東良孝衆議院議員 政策秘書
 - 2010年 日本青年会議所 領土領海委員会
 - 2012年 釧路青年会議所卒業
 - 2017年 衆議院議員(近畿ブロック比例)
 - 2021年 財務大臣政務官
 - 現在 自民党 参議院比例区支部長
- 主な支援団体 全国ときわ会連合会
交通運輸連絡協議会
日本港湾空港建設協会連合会



私も推薦します

全国ときわ会連合会 会長 鈴木 倣也

しげもとまもるさんは我らの代表、我らの誇り、希望です。しげもとまもるさんは、清麗の天守を戴く姫路に生を受け、土木工学を修め、その過程で阪神淡路大震災を体験されました。当時の運輸省に入省の後は米国留学・MBA学位取得と研鑽を積み、行政官として交通インフラの整備に若き情熱を注がれておりました。

ところが、このまま行政官としての道を歩むことなく、一大転換の飛躍をされることとなります。市民生活と国家インフラに直接関係する現場を経験されるにつれ、自らに課した交通インフラ整備実現に強く感じるところもあって意を決し、行政という安定の人生に執着せず、36歳で政治の道に入ったのです。

政策秘書として研鑽を積んだ後、第48回衆議院議員選挙において見事当選。1期4年間は短いとはいえ、新人ながら目を見張る活躍でした。その後の総選挙においては苦戦を経験されましたが、それすらも克服し、逆に糧としてさらに一層大きく成長される強靱なパーソナリティに、各方面から讃嘆の声が寄せられたところです。

今、ここに多くの期待を担って、しげもとまもるさんの全国比例への戦いが始まっています。

政治家に第一に求められる「気概」これに知、仁、勇、情熱を備えた、若さいっぱいしげもとまもるさんは、私たち鉄道人が信念と誇りをもって推薦する新進気鋭の政治家です。JR職域団体ときわ会は、しげもとまもるさんを我らの代表として全面的に支持支援し、皆さまとともに絶対の成果達成を目指して力の限りを尽くします。

しげもとまもるの 趣味・特技

国内旅行、居合道(三段)、登山・キャンプ、ドローン操縦士(DPCA認定)、小型船舶操縦士、アマチュア無線技士



お手数ですが、スマホで下のQRコードを読み取り必要事項をご記入下さい。



SNSで活動報告を更新中!!



しげもとまもる 後援会入会のご案内

自民党



参議院 支部長 全国区

鉄道に生きる全国の皆様へ

人と人をつなぎ、まちとまちをつなぎ、つながらる心で日本を拓く!!

この度、自由民主党より、参議院の比例代表(全国区)として2025年第27回参議院議員通常選挙の公認候補予定者に決定いただきました。

神戸大学でインフラ整備を学んだ後、中央政府及び地方自治体で働いた行政経験を十分に発揮して、鉄道を始めとする交通運輸・観光業界の成長とこれを支えるインフラ整備に全力を尽くして参ります。

全国津々浦々からの皆様のご支援を、何卒、よろしくお願い申し上げます。

しげもとまもる

国土交通省出身

ホームページ



討議資料

しげもとまもる事務所

〒105-0004 東京都港区新橋6丁目4番3号
ル・グラシエルビル7号館5階
電話 03-6452-8100 FAX 03-6452-8101

しげもと・走る



西日本

北陸新幹線

- 敦賀・新大阪間の早期の着工、一日も早い全線開業を目指す

カーボンニュートラル

- 社会全体でのCO2排出量減少を目的とした、鉄道へのモーダルシフト推進

運賃料金制度

- 柔軟な運賃・料金設定の実現を目指す

地方ローカル線

- 各地域にとって最適な地域公共交通のあり方について、沿線自治体を含む関係者と議論していく

九州

九州新幹線

- 新鳥栖・武雄温泉間に、フル規格で佐賀駅を經由するルートによる早期の整備を目指す



四国

まちづくり・ネットワーク強化

- 地域とともに駅を中心としたまちづくりを進める
- 新幹線等の抜本的な高速化の早期実現
- 他の交通機関との利便性向上・連携強化等による「公共交通ネットワークの四国モデル」の追求



東日本

新たな価値創造

- 「モビリティ」と「生活ソリューション」を融合したサービスの創造をさらに進める

柔軟な運賃体系

- シンプルかつ柔軟な運賃制度体系の実現を目指す

地方ローカル線のあり方

- 沿線自治体と持続可能な交通体系の構築に向けた協議を進める
- カーボンニュートラル
- 2050年度のCO2排出量「実質ゼロ」の達成に向けた挑戦を続ける



貨物

貨物鉄道輸送

- 「物流 2024 年問題」を受け、本格的な物流革新が求められる中でモーダルコンビネーションの推進と輸送量の拡大を図る



北海道

北海道新幹線

- 札幌延伸開業、札幌駅前再開発事業の推進、更なる高速化の検討

経営自立を目指した取り組み

- 持続可能な交通体系の構築について、「単独維持困難線区」などの諸課題の解決に向けた「事業の抜本的な改善方策」を進める
- 青函トンネルの維持管理に係る問題の解消、貨物列車との共用走行問題の解決



運賃制度の見直し

幹線鉄道ネットワークの強化

地方ローカル線のあり方の検討

鉄道貨物輸送の充実